



2025 年 6 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマト
代表者名 代表取締役社長執行役員 町田 豊
(コード番号：1967 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 藤井政宏
(TEL. 027-290-1800)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、取締役会全体の実効性を高め、企業価値の向上を図ることを目的とし、取締役会全体の実効性に関する分析・評価を行いました。なお、必要に応じその集計・分析については外部機関に委託しております。2025年3月期の取締役会の実効性に関する評価結果の概要は下記のとおりであります。

記

1. 評価の実施方法

取締役会評価においては、以下の事項を内容とするアンケートをすべての取締役、監査役
に実施し、その回答を得ました。

対 象 者：取締役9名（うち社外2名）、監査役3名（うち社外2名） 合計12名
対 象 期 間：2025 年 3 月 期
実 施 期 間：2025 年 3 月 21 日～4 月 3 日
手 法：外部専門家に委託してアンケートを実施する第三者関与の自己評価方式
アンケート：5段階評価と自由記述式回答 13区分（32項目）
区 分 概 要：

- ① 取締役会の在り方
- ② 取締役会の構成
- ③ 取締役会の運営
- ④ 取締役会の議論
- ⑤ 取締役会のモニタリング機能
- ⑥ 社内取締役のパフォーマンス
- ⑦ 社外取締役のパフォーマンス
- ⑧ 取締役・監査役に対する支援体制
- ⑨ トレーニング
- ⑩ 株主（投資家）との対話
- ⑪ 自身の取組み
- ⑫ 指名委員会・報酬委員会の運営
- ⑬ 総括

2. 評価結果の概要

評価結果の概要については、次のとおりであります。

(1) 当社取締役会は、取締役会の在り方、取締役会の構成、取締役会の運営、取締役会の議論、取締役会のモニタリング機能、社内取締役のパフォーマンス、社外取締役のパフォーマンス、取締役・監査役に対する支援体制、トレーニング、株主（投資家）との対話、自身の取組み、指名委員会・報酬委員会の運営、総括の各アンケート内容について、概ね取締役会の実効性が確保できている評価となりました。

(2) 前回から課題として取り組んでいる事項

- ・形式的でなく自由闊達で建設的な議論や意見交換
- ・中核人材の多様性の確保の考え方などについての適切な議論
- ・グループ全体の内部統制システムの構築および運用状況の十分な監督

取締役会は、その役割と責務を実効的に果たすため、自由闊達で建設的な議論や意見交換を行うよう努めてまいりました。取締役会以外にも定期的にミーティングを実施し、一定の成果を上げております。一方で「やや不十分」という回答もありました。社内外の役員双方から多様な意見を発信し、市場変化への対応や監督機能強化の観点からも、継続的に議論の活性化に取り組んでまいります。

中核人材の多様性の確保に関する適切な議論については、当社の現状を取締役会にて二回報告いたしました。具体的な議論には至りませんでした。人材戦略の重要性から、継続して取り組んでまいります。

取締役会は、監査部から定期的に「監査法人からの監査結果報告書指摘事項への対応について」報告を受け構築運用状況を監督・監視しています。

3. 当期の取組みについて

次の三点を主な改善すべき点とし、取締役会で次のとおり取り組んでまいります。

- ・経営戦略・経営計画につき収益力・資本効率等を意識した十分な審議の実施
- ・中核人材の多様性の確保の考え方などについての適切な議論
- ・グループ全体の内部統制システムの構築および運用状況の十分な監督

取締役会は、次期中期経営計画をはじめ、中長期的な企業価値向上に向けた議論を拡充してまいります。中核人材の多様性の確保の考え方など具体的な議論について年間スケジュールを設定し、定期的な機会を確保することで、議論を深めてまいります。また、監督機能を発揮する観点からも、定期的にグループ会社を含めた内部統制に関する報告を行い、是正・改善措置等に関して取締役会での充実した議論を目指してまいります。

以 上